

朝起きてふと思えば学校の日だ
学校は天国朝はじごく

(大意)
朝はとてちがうがうし
ていようかん

夢半ば戦い抜いた我が誇り
独りで流した涙の重さ

(大意)
自分の後はいの全国大会を
かけた最後の戦い
結果は敗北だが最後
まで戦い抜いた後は誇り
に思ふけど、一人になでやほり
泣いたそのときの悔しと後がい
は言葉で表せないで済んだ。
比喩

帰り道いつものように下るさか

ハートにさらけ
けがしたあの日

(大意)
いつも学校から家に帰る時につ
てくるさかにも通りかかっていた
ら、急にハートに刺さるまで、自転車
にぶつかった。

体言止め

(弁当)
贈り物母に向けこの思い込め
ありがとう、とね 優しい顔で

(大意)
母へ感謝の思いを込
め、弁当をつくった。
それを渡すと母は
ニコッと笑い「ありがと
う」と言った。

倒置法

帰り道 水たまりには 青い空
うすらと残る 飛行機雲と

(大意)
学校から帰っているとき、
水たまりに空と消えかけ
そうな飛行機雲を見て
切なくなるといふ短歌。

倒置
体言止め

手を振ってまた明日なのに
たち止まる まだしりたい
続きのはなし

(大意)
帰り道友達とこま
話している学校で
さん話したのにまだ
話したくなかった。

倒置法